

四分音符二つで、どうして二分音符と同じなんだろう

音楽用語に“四ぶおんぷ”“二ぶおんぷ”という言葉があります。符という字が教育漢字でないものですから、中学生にならないと、“四分音符”“二分音符”という表記になりません。

だから、「算数では四ぶと四ぶとでは八ぶなのに、音楽では四ぶと四ぶとでは二ぶになるんだな。ややこしいな」と思い、また「音楽でも、二ぶと二ぶとで四ぶ、四ぶと四ぶとで八ぶ、というようにすればよいのに。なぜ逆にするんだろう」と疑問に限っている子供がいます。

しかし、そこまで考える子供は正しく理解できる子供ですが、そこまで考えない子供は二分音符と四分音符とを間違えたり、二分音符二つで四分音符になると思い違いをしたりします。とにかく、この用語を正しく理解することに子供たちは苦労しています。

ところが、初めから“四分音符”“二分音符”という漢字で教えますと、だれでもぴしゃっと解ってくれます。“分”という字は、刀で物を切り分けたことを表わした字で、“分ける”という意味の字です。

一つの物を二つに分けるのが“二分”で、四つに分けるのが、“四分”

です。だから、四つに分

けたもの(四分)を二つ集めると、二つに分けたもの(二分)と同じになります。つまり、四分音符二つは二分音符だ、ということがすっきりと理解できます。だから、“二ぶおんぷ”ではなかなか理解させることが困難で、誤解が多かったのに、“二分音符”という漢字で教えますと、簡単に理解してくれて、誤りもありませんでした。

このような例を挙げたらきりがないので、これくらいにしておきましょう。とにかく“言葉は漢字で”理解させたら、早く、正しく、深く理解できることを知って下さい。